

# 中国語教育学会会報

第 23 号 (通巻 48 号) 2008 年 6 月 11 日発行

562-8558

大阪府箕面市粟生間谷東 8-1-1

大阪大学 外国語学部 中国語学研究室内

中国語教育学会

H P <http://www.jacle.org/>

E-mail [ch\\_teaching@yahoo.co.jp](mailto:ch_teaching@yahoo.co.jp)

郵便振替口座 00110-1-191152

=====  
( 1 ) 第 6 回全国大会開催報告

( 2 ) 2008 年度第 1 回理事会、総会報告

( 3 ) 研究例会のお知らせ

( 4 ) 第九届国际汉语教学讨论会(2008 年 12 月, 西安)について

( 5 ) 事務局からのお知らせ  
=====

( 1 ) 第 6 回全国大会開催報告

2008 年 6 月 7・8 日 (土・日)、北九州市立大学において開催された第 6 回全国大会は、140 余名の参加を得て、盛会となりました。

6 月 7 日

12 : 00 ~ 13 : 10 理事会

13 : 30 ~ 13 : 50 会員総会

14 : 00 ~ 14 : 20 開会式

会長挨拶 : 古川裕 (大阪大学)、開催校代表挨拶 : 板谷俊生 (北九州市立大学)

14 : 20 ~ 17 : 00 特別講演会「中国語能力測定の現在と未来」

「汉语水平考試的改进与汉语作为第二语言教学研究」

孫徳金 (北京語言大学对外漢語研究中心) 司会 : 胡士雲 (四天王寺大学)

「中国語検定のこれまでとこれから」日下恒夫 (関西大学) 司会 : 内田慶市 (関西大学)

17 : 30 ~ 20 : 00 懇親会 (寿司 BAR)

6 月 8 日

9 : 30 ~ 12 : 10 研究発表 (第 1 ~ 4 分科会)

「“被”構文の教授法についての一提案—日本語受身文が“被”構文では表せない場合を中心に」古賀悠太郎 (神戸市外国語大学・院)

「属性描写としての可能表現—<希望>と<可能>の観点から」勝川裕子 (名古屋大学)

以上司会 : 加藤晴子 (明海大学)

「中国語語彙習得における成語の位置づけ—HSK 語彙中の成語の扱い」須田美知子 (東大阪市立日新高等学校)

「類義語分析方法についての一考察—『范围大小』と『词义轻重』を中心に」浅野雅樹 (下関市立大学)

以上司会 : 守屋宏則 (明治大学)

「中国語の動補構造“V 進（+来/去）”について」丸尾誠（名古屋大学）

「方向補語“来”“去”と目的語の語順」平山邦彦（拓殖大学）

「日本人中国語学習者による『補語』の習得に関する横断的研究－『結果・方向・可能補語』を中心に」姚艷玲（東海大学）

以上司会：荒川清秀（愛知大学）

「初級の第1年度に何をどのように教えるか－『中国語初級段階学習指導ガイドライン』『高校中国語教育のめやす 平成11年度版』『高等学校における中国語と韓国朝鮮語：学習のめやす（試行版）の比較を通じて』」植村麻紀子（神田外語大学）

「『高等学校の中国語：学習の目安』に準拠した教材のモデルと開発手順のモデル」山崎直樹（関西大学）

「学習者のメタ認知を生かした中国語教育に関する実践研究」胡玉華（立命館大学）

以上司会：岩本真理（大阪市立大学）

13：20～15：30 研究発表（第5～8分科会）

「副詞・虚詞・補語への映画を介したアプローチについて」塩旗伸一郎（駒澤大学）

「文法項目導入時におけるまんが利用の効果」鈴木慶夏（釧路公立大学）

以上司会：丸尾誠（名古屋大学）

「言語背景と中国語習得・学習規則」竹中佐英子（目白大学）

「日本語を母語とする中国語学習者の誤用について」藤田昌志（三重大学）

以上司会：山田眞一（富山大学）

「中国語“一个”における特殊用法の日本人学習困難点」藤小春（広島大学・院）

「文法学習の階層性－日本語の場合を参考に」岡本俊裕（京都外国語大学）

以上司会：西川和男（関西大学）

「『教育用中国語音節表』作成の必要性和試案の提示」三枝茂人（名古屋外国語大学）

「大規模教室におけるヒアリング教育の試み」須山哲治（早稲田大学）

以上司会：郭春貴（広島修道大学）

## （2）2008年度第1回理事会、会員総会報告

理事会出席者：古川裕（会長）；平井和之、西川和男、山田眞一（以上、代表理事）；

岩本真理、遠藤雅裕、加藤晴子、郭春貴、日下恒夫、胡士雲、佐藤富士雄、高橋弥守彦、武信彰、陳淑梅、依藤醇、楊光俊（以上、理事）；森宏子、郭修静（幹事）

欠席者：荒川清秀、王占華、大川完三郎、胡興智、藤井達也、丸尾誠、三宅登之、守屋宏則、吉田隆司（敬称略）

### 1. 会員動向、会誌発行について

古川裕会長から会員動向、会誌発行について報告があった（現時点の総会員数は434名；『中国語教育』第6号は2008年3月31日付で700部印刷、会員には4月19日発送済み）。

### 2. 会計報告について

森宏子幹事から2007年度決算及び2008年度予算案について報告、説明があった。

中西千香監査から2007年度会計監査状況について報告があった。

### 3. 2009年度第7回全国大会について

荒川清秀理事（欠席）を代表して会長から、来年度第7回全国大会は2009年6月6・7日（土・日）の両日、愛知大学・豊橋校舎において開催予定である旨、報告があった。

#### 4. 2008年度支部例会への協力依頼について

三宅登之理事（欠席）を代表して会長から7月5日（土）開催予定の関東地区研究会への参加依頼があった。また、2008年度も関東地区、関西地区、九州地区での支部例会開催に向けての協力依頼があった。

#### 5. 名誉会員の推挙について

会長より岩崎富久男、城内郁子、戸毛敏美会員を来年度からの名誉会員に推挙したい旨、提案があり了承された。

#### 6. その他

理事会において学会誌投稿規定・執筆要領の改正を行うことが確認された。王占華理事からの理事辞任届を受領し、後任として西香織会員（北九州市立大学）に依頼することとなった。

### 2007年度会計決算

<収入>		<支出>	
会費収入	2,183,770	諸会議費	310,000
会誌売上	85,750	郵便費	297,916
記念大会寄付金	364,740	事務費	447,072
繰越金	2,465,085	交通費	516,980
計	5,099,345	学会誌第6号印刷費	273,000
		第5回大会費	500,000
		幹事手当	200,000
		選挙関連費	24,709
		予備費	2,528,910
		計	5,099,345

監査の結果、経理内容は適正であり、会計諸表は的確に処理されていることを認めます。

2008年5月17日

2007年度会計監査 勝川裕子（印）、中西千香（印）

### 2008年度予算案

<収入>		<支出>	
会費収入	1,600,000	諸会議費	300,000
会誌売上	50,000	郵便費	320,000
繰越金	2,528,910	事務費	200,000
計	4,178,910	交通費	500,000
		会誌第7号印刷費	300,000
		第6回大会費	400,000
		幹事手当	200,000
		予備費	1,958,910
		計	4,178,910

### ( 3 ) 研究会のお知らせ

関東地区7月研究会を開きます。会員の皆様のご参加・ご来聴をお待ちしています。  
最新情報、会場へのアクセス地図は学会ホームページをご覧ください。

#### 関東地区7月研究会

日 時：7月5日（土）14:00～17:00

場 所：東京外国語大学・研究講義棟1階104小講義室

JR中央線武蔵境駅で西武多摩川線に乗り換え、多磨駅下車徒歩5分。

京王線飛田給駅から京王バスで東京外国語大学前下車（バス約10分）。

李 軾 伦（東京外国語大学・院）

「副詞“正”の使用と偶然性の有無について」（仮題）

渡邊奈津子（東京外国語大学・院）

「可能補語の表わす意味について

－未然の文脈での使用例と已然の文脈での使用例」（仮題）

小松紘一郎（東京外国語大学・研）

「動態形容詞のV了Vについて」（仮題）

### ( 4 ) 第九届国际汉语教学讨论会(2008年12月, 西安)について

世界漢語教学学会（北京）主催の第九届国際漢語教学討論会が2008年12月15～20日、中国西安市において開催されます。中国語教育学会は世界漢語教学学会の団体会員です。申し込みについての詳細情報は、同学会ホームページ（<http://www.shihan.edu.cn/>）、もしくは中国語教育学会のホームページ（<http://www.jacle.org/>）からのリンクをご覧ください。

### ( 5 ) 事務局からのお知らせ

#### 1. 年会費納入のお願い

同封の振込用紙に必要事項をご記入の上、年会費をお振込ください。

年会費は¥5,000です。事務処理の都合上、2008年7月末日までにご入金ください。

会費滞納の方は振込用紙に注記された未納額を一括納入してください。なお、請求金額が¥15,000以上の方で、7月末日までにお支払いがない場合は会則に従い除籍となります。住所変更・所属変更などの連絡は振込用紙ではなく、ご面倒でも事務局宛に電子メールまたは郵便でお知らせください。ご協力お願いいたします。

#### 2. 支部例会へのお誘い

今年度も関東地区、関西地区、九州地区での支部例会発表者を広く募集しています。

研究発表を希望される会員、あるいは講演会などを企画される場合、関東地区は三宅登之理事、関西地区は事務局、九州地区は西香織理事までご連絡ください。

各連絡先アドレスは学会ホームページ「研究会・講演会」ページからリンクされていますので、ご利用ください。